



**東南アジアの大学生との
相互理解を目指した
海外派遣プログラム**

ブルネイ・ダルサラーム大学
短期語学・文化研修

茨城大学 全学教育機構 准教授
瀬尾匡輝
masaki.seo.ms@vc.ibarai.ac.jp

茨城大学

1949年創立の国立大学
5学部・大学院4研究科を有する総合大学
学生数 **8,128人** (2019年5月1日時点)

学部生 6,818人
大学院生 1,198人
その他 112人

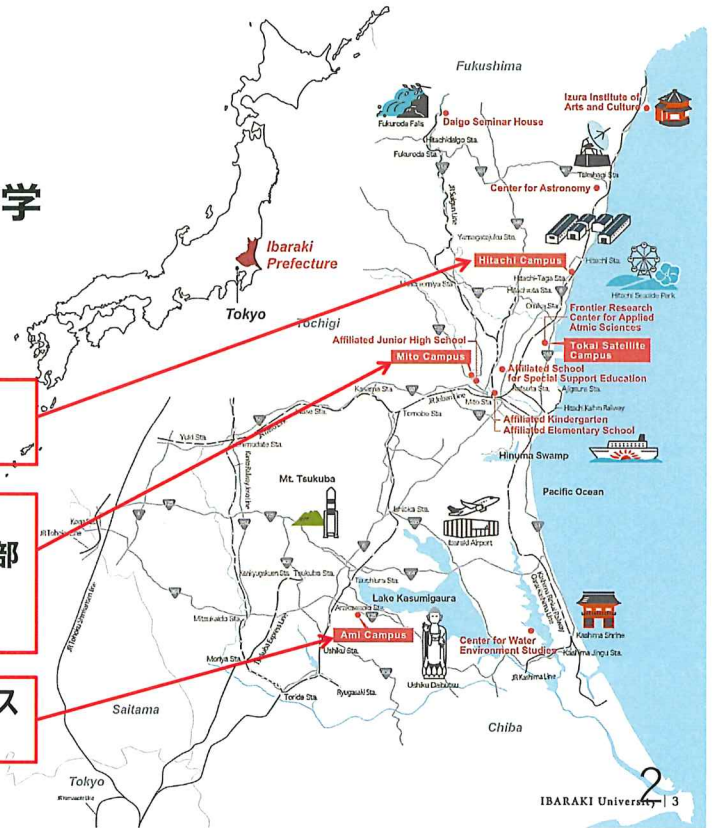
留学生数

316人 (外国人学生比率3.9%)

日立キャンパス
・工学部

水戸キャンパス
・人文社会科学部
・教育学部
・理学部

阿見キャンパス
・農学部



茨城大学

1949年創立の国立大学

5学部・大学院 4研究科を有する総合大学

学生数 **8,128人** (2019年5月1日時点)

学部生 6,818人
大学院生 1,198人
その他 112人

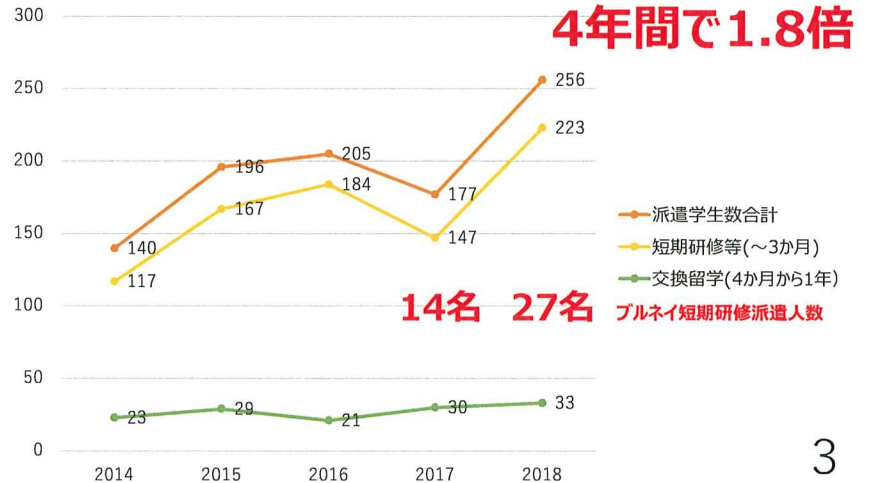
留学生数

316人 (外国人学生比率3.9%)

海外派遣人数 (2018年度)

256人(留学比率3.1%)

海外への学生派遣実績



3

大学間・学部間交流協定機関 (23の国・地域/69大学・機関)



4

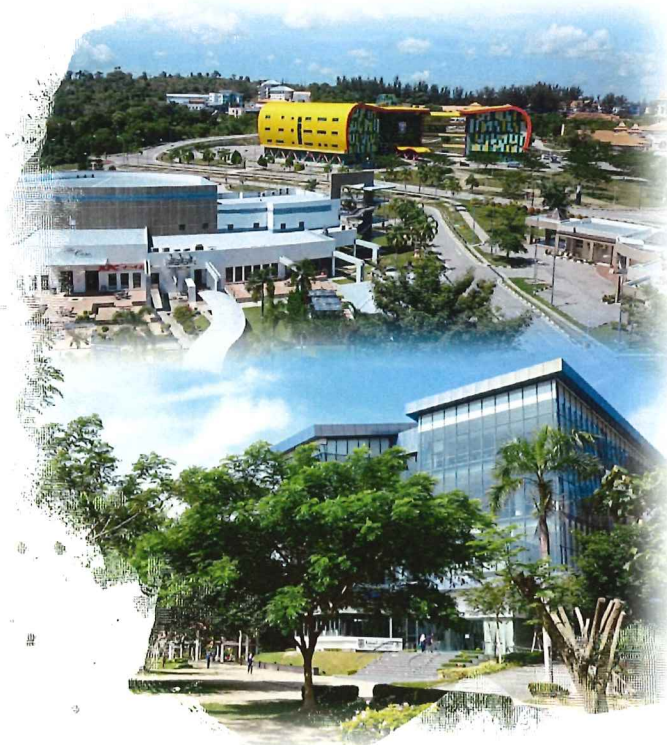
ブルネイ・ダルサラーム大学

1985年創立

ブルネイ唯一の総合国立大学

学生数 2,797人

QS世界大学ランキング2020 298位



5

ブルネイ・ダルサラーム大学短期語学・文化研修

茨城大学生向けのプログラム

期間： 8月中旬から9月中旬の1か月間

概要： ブルネイ・ダルサラーム国で最大で最古の大学ブルネイ・ダルサラーム大学で約4週間にわたる語学・文化研修に参加します。研修では、英語の授業のほかに、ブルネイの文化に関する講義やマレー語の授業を受講します。また、現地の史跡巡りや現地の学生との交流も予定されています。

参加費： 246,210円 (2019年度)

研修参加費・宿泊費・航空券・現地での食費(朝昼晩の3食)・フィールドトリップ参加費

+ 8,630円 (海外旅行傷害保険)

The collage features several promotional items for the Global Discovery Programme. At the top left is a flyer for the 2019 program, titled '2019年度 短期語学・文化研修旅行' (2019 Short-term Language and Cultural Study Travel), with the subtitle 'ブルネイ国で最大で最古の大学 ブルネイ・ダルサラーム大学で学ぶ Global Discovery Programme'. It lists the dates '2019年 8月18日(日)~9月15日(日)' and the fee '246,210円'. Below this is a brochure titled 'ブルネイ' (Brunei) with the subtitle 'アジアの地境 魅力の自然と 資源に恵まれた平和な国ブルネイ 現地学生と交流しよう'. The brochure includes details about the program, such as '研修期間 8月18日(日)~9月15日(日)' and '研修費用 246,210円'. At the bottom right of the collage is a small image of a group of students and a logo for '2over'.

6

ブルネイ・ダルサラーム大学短期語学・文化研修

本研修の概要

① 1日4時間の英語の授業



② マレー語やブルネイの文化に関する講義



③ 多彩なフィールドトリップへの参加



③ 留学生支援サークル「Buddies」との交流



Global Discovery Programme (GDP): Intensive English Proficiency Course (IEPC) – Ibaraki University, Japan

TENTATIVE SCHEDULE: 21st August – 15th September 2017

Week 1 (21st – 27th August 2017)

	6.30 – 7.45	9.00 – 11.00	12.00 – 2.00	2.00 – 4.00	6.00 – 10.30 PM
19/8/2017 SATURDAY	BREAKFAST	Arrival and Accommodation Check-in	LUNCH	Arrival and Accommodation Check-in	DINNER
20/8/2017 SUNDAY	BREAKFAST	FREE & EASY	LUNCH	Arrival at 14:50 (tentative) FREE & EASY	DINNER
21/8/2017 MONDAY	BREAKFAST	WELCOMING CEREMONY Start at 9.30am	LUNCH	CAMPUS TOUR & ICE BREAKING WITH STUDENT AMBASSADORS	DINNER
22/8/2017 TUESDAY	BREAKFAST	INTRODUCTION TO IEPC Ice Breakers About IELTS Course Expectations	LUNCH	PRE-ASSESSMENT Listening & Reading	DINNER
23/8/2017 WEDNESDAY	BREAKFAST	PRE-ASSESSMENT Writing 1 & Writing 2	LUNCH	PRE-ASSESSMENT Speaking	DINNER
24/8/2017 THURSDAY	BREAKFAST	PRE-ASSESSMENT Speaking inc. Pronunciation	LUNCH	Maley Technology & Maritime Museum (Field trip)	DINNER
25/8/2017 FRIDAY	BREAKFAST	Istana Nurul Iman, Tamu Kianggeh & Chinese Temple (Field trip)	LUNCH	Royal Regalia (Field Trip)	DINNER
26/8/2017 SATURDAY	BREAKFAST	Writing 1	LUNCH	Brunei Arts and Handicraft Centre (Field trip)	DINNER
27/8/2017 SUNDAY	BREAKFAST	Kampong Ayer, Proboscis Sighting and Mangrove Forest Tour, Sultan Omar Ali Saifuddin Mosque (Field trip)	LUNCH	Jame'Asr Hassanil Bolkihah Mosque (Field trip)	DINNER

ブルネイ・ダルサラーム大学短期語学・文化研修

派遣学生の内訳

2017年度 14名

2018年度 27名

2019年度 11名

人文社会科学部 5名 2年生 5名 男性 3名、女性 2名
教育学部 5名 3年生 1名、2年生 2名、1年生 2名 女性 5名
工学部 3名 3年生 2名、2年生 1名 男性 3名
理学部 1名 1年生 1名 男性 1名

工学部 12名 4年生 3名、3年生 3名、 2年生 5名、1年生 1名 男性 8名、女性 4名
人文社会科学部 11名 3年生 2名、2年生 6名、1年生 3名 男性 3名、女性 8名
農学部 3名 2年生 2名、1年生 1名 男性 2名、女性 1名
理学部 1名 3年生 1名 女性 1名

人文社会科学部 3名 3年生 3名、2年生 1名 男性 1名、女性 2名
農学部 3名 3年生 2名、2年生 1名 女性 3名
工学部 2名 3年生 1名、2年生 1名 男性 1名、女性 1名
教育学部 2名 1年生 2名 女性 2名
理学部 1名 1年生 1名 女性 1名

8

茨城大学のディプロマポリシー

1. 世界の俯瞰的理解

英語学習だけではなく、モスクや水上集落、マングローブ林、クアラ・ブラロン野外調査センターなどへのフィールドトリップを通して、ブルネイの社会・自然文化の理解を試みる

自然環境、国際社会、人間と多様な文化に対する幅広い知識と俯瞰的な理解

2. 専門分野の学力

専門職業人としての知識・技能及び専門分野における十分な見識

3. 課題解決能力・コミュニケーション力

世界各地で話されている多種多様な英語はすべて同じ「英語」だと考える「World Englishes」(e.g. Jenkins 2003)を学ぶ

グローバル化が進む地域や職域において、多様な人々と協働して課題解決していくための思考力・判断力・表現力、及び実践的英語能力を含むコミュニケーション力

4. 社会人としての姿勢

社会の持続的な発展に貢献できる職業人としての意欲と倫理観、主体性

5. 地域活性化志向

茨城をはじめとする地域の活性化に自ら進んで取り組み、貢献する積極性

9

学生の成績評価とプログラムの改善

・基盤教育科目「多文化共生：短期海外研修（ブルネイ）」2単位

・学生の成績評価


- | | |
|----------------|-----|
| ・授業への参加態度 | 10% |
| ・UBDの英語授業の成績評価 | 30% |
| ・出発前の活動評価 | 30% |
| ・レポート | 30% |

・プログラムの改善の仕組み

- ・UBDの教員からのフィードバック
- ・学生アンケート
- ・学生インタビュー

事前・事後学習について

海外での短期研修を単に「行ってよかった」という「ハネムーン効果」(藤原, 2017, p.48)で終わらせることなく、研修で得た経験を持続的な学びに結びつける必要がある。



ブルネイについて
何も知らないのに、
何をしよう…。

12

ブルネイに関する書籍が
ないのであれば、
ブルネイに関する本を
作成することを課題として
出せばいいじゃない？！



そうすれば、
社会貢献活動にもなるし、
学生も緊張感を持って、課題を遂行できる！
売上が大学の資金にもなる！

14

タスクの説明（シラバスより）

ブルネイでの研修に参加した経験を執筆してもらうとともに、フィールドワーク調査をもととしたブルネイの概要をまとめてもらい、それらを含めた報告集を作成する。そして、その報告集を電子書籍として販売し、本学が取り組んでいる短期海外研修及びブルネイの状況についての情報共有を試みる。

公開する内容

- ・【グループレポート】フィールドワークレポートーブルネイの文化、社会、教育、経済、観光などの概要
- ・【個人レポート】ブルネイ短期語学研修に参加しての体験談

16

電子書籍を出版する理由（シラバスから）

このような報告集を作成する理由及びAmazon Kindleにて配布する理由は以下の通りである。

1. 現地の情報を収集し、それをまとめることにより、ブルネイへ行くための事前学習とする。
2. ブルネイに関する書籍は現在きわめて少なく、Amazonで販売されているものとしては、海外旅行ガイド 12冊（その中でも「マレーシア」の一部として扱われている）に留まっている。社会貢献の一環として、参加学生の目線からのブルネイについての情報を共有することを目指す。また、PDF版のネット公開ではなく、電子書籍とする理由としては、ブルネイや短期海外研修に興味を持つ学外の人々にも情報を共有したいと考えたからである。
3. 次年度以降に参加する学生に向けての情報共有として配布する。

17

レポート執筆の手順 (2018年度)

1	2018.7.5	担当教員が課題の説明を行った。フィールドワークレポートを執筆するグループは、担当教員がメンバーの学部や学年、性別ができるだけ重ならないように調整した。
※	授業外	ウェブ会議システムZOOM 上でオンラインミーティングを各グループで行った。オンラインミーティングでは、1) フィールドワークレポートのテーマを何にするか(何について調べるか)、2) そのために何をしなければならぬか、3) ブルネイに行くまでに何を調べるかについて話し合った。話し合いの後、ブルネイに行くまでに本やインターネットなどから自分達で調べられることは調べた。
2	2018.7.26	各グループが調べてきたことについて報告した。前年度ブルネイでの研修に参加した学生にも来てもらい、報告に対してコメントやアドバイスをもらった。

18

レポート執筆の手順 (2018年度)

※	2018.8.17 ~9.15 ブルネイ滞在	現地で行われる短期英語研修に参加しながら、現地の学生にアンケートやインタビューをしたり、写真や動画を撮ったりと現地でしか得られない情報を収集した。
3	2018.10.1	グループごとにブルネイ滞在中のフィールドワークからどんなことがわかったのかを報告した。
※	授業外	1) グループでフィールドワークレポートを、個人でブルネイ滞在の体験談やアドバイスを執筆した。2) 執筆した原稿をGoogle Driveを用いクラウド上に保存し、コメント機能を用いてピアレスポンス活動を行った。3) コメントを参考に最終原稿を提出した。
※	報告集の公開	報告集は、Amazon Kindleの電子書籍として販売し、社会貢献の一環として広く一般に対してブルネイについての情報共有を試みた。

19

レポート執筆の手順

1	2018.7.5	担当教員が課題の説明を行った。フィールドワークレポートを執筆するグループは、担当教員がメンバーの学部や学年、性別ができるだけ重ならないように調整した。
※	授業外	ウェブ会議システムZOOM上でオンラインミーティングを各グループで行った。オンラインミーティングでは、1) フィールドワークレポートのテーマを何にするか(何について調べるか)、2) そのために何をしなければならないか、3) ブルネイに行くまでに何を調べるかについて話し合った。話し合いの後、ブルネイに行くまでに本やインターネットなどから自分達で調べられることは調べた。
2	2018.7.26	各グループが調べてきたことについて報告した。前年度ブルネイでの研修に参加した学生にも来てもらい、報告に対してコメントやアドバイスをもらった。

20

レポート執筆の手順

1	2018.7.5	担当教員が課題の説明を行った。フィールドワークレポートを執筆するグループは、担当教員がメンバーの学部や学年、性別ができるだけ重ならないように調整した。
※	授業外	ウェブ会議システムZOOM上でオンラインミーティングを各グループで行った。 オンラインミーティングでは、1) フィールドワークレポートのテーマを何にするか(何について調べるか)、2) そのために何をしなければならないか、3) ブルネイに行くまでに何を調べるかについて話し合った。話し合いの後、ブルネイに行くまでに本やインターネットなどから自分達で調べられることは調べた。
2	2018.7.26	各グループが調べてきたことについて報告した。前年度ブルネイでの研修に参加した学生にも来てもらい、報告に対してコメントやアドバイスをもらった。

21



22

レポート執筆の手順

1	2018.7.5	担当教員が課題の説明を行った。フィールドワークレポートを執筆するグループは、担当教員がメンバーの学部や学年、性別ができるだけ重ならないように調整した。
※	授業外	ウェブ会議システムZOOM上でオンラインミーティングを各グループで行った。 オンラインミーティングでは、1) フィールドワークレポートのテーマを何にするか(何について調べるか)、2) そのために何をしなければならないか、3) ブルネイに行くまでに何を調べるかについて話し合った。話し合いの後、ブルネイに行くまでに本やインターネットなどから自分達で調べられることは調べた。
2	2018.7.26	各グループが調べてきたことについて報告した。前年度ブルネイでの研修に参加した学生にも来てもらい、報告に対してコメントやアドバイスをもらった。

23

各グループが選んだトピック

1. ブルネイの野菜と果物
2. ハラルフード
3. ブルネイの建築物
4. ブルネイのお金持ちの生活
5. ブルネイの大学生の夢
6. イスラム教徒以外の生活
7. ブルネイの他国からの影響

24

レポート執筆の手順

1	2018.7.5	担当教員が課題の説明を行った。フィールドワークレポートを執筆するグループは、担当教員がメンバーの学部や学年、性別ができるだけ重ならないように調整した。
※	授業外	ウェブ会議システムZOOM 上でオンラインミーティングを各グループで行った。オンラインミーティングでは、1) フィールドワークレポートのテーマを何にするか（何について調べるか）、2) そのために何をしなければならぬか、3) ブルネイに行くまでに何を調べるかについて話し合った。話し合いの後、ブルネイに行くまでに本やインターネットなどから自分達で調べられることは調べた。
2	2018.7.26	各グループが調べてきたことについて報告した。前年度ブルネイでの研修に参加した学生にも来てもらい、報告に対してコメントやアドバイスをもらった。

25



26

レポート執筆の手順

※	2018.8.1 7~9.15 ブルネイ滞在	現地で行われる短期研修に参加しながら、現地の学生にアンケートやインタビューをしたり、写真や動画を撮ったりと現地でしか得られない情報を収集した。
3	2018.10.1	グループごとにブルネイ滞在中のフィールドワークからどんなことがわかったのかを報告した。
※	授業外	1) グループでフィールドワークレポートを、個人でブルネイ滞在の体験談やアドバイスを執筆した。2) 執筆した原稿をGoogle Driveを用いクラウド上に保存し、コメント機能を用いてピアレスポンス活動を行った。3) コメントを参考に最終原稿を提出した。
※	報告集の公開	報告集は、Amazon Kindleの電子書籍として販売し、社会貢献の一環として広く一般に対してブルネイについての情報共有を試みた。

27



レポート執筆の手順

※	2018.8.17 ～9.15 ブルネイ滞在	現地で行われる短期英語研修に参加しながら、現地の学生にアンケートやインタビューをしたり、写真や動画を撮ったりと現地でしか得られない情報を収集した。
3	2018.10.1	グループごとにブルネイ滞在中のフィールドワークからどんなことがわかったのかを報告した。
※	授業外	1) グループでフィールドワークレポートを、個人でブルネイ滞在の体験談やアドバイスを執筆した。2) 執筆した原稿をGoogle Driveを用いクラウド上に保存し、コメント機能を用いてピアレスポンス活動を行った。3) コメントを参考に最終原稿を提出した。
※	報告集の公開	報告集は、Amazon Kindleの電子書籍として販売し、社会貢献の一環として広く一般に対してブルネイについての情報共有を試みた。



レポート執筆の手順

※	2018.8.17 ～9.15 ブルネイ滞在	現地で行われる短期英語研修に参加しながら、現地の学生にアンケートやインタビューをしたり、写真や動画を撮ったりと現地でしか得られない情報を収集した。
3	2018.10.1	グループごとにブルネイ滞在中のフィールドワークからどんなことがわかったのかを報告した。
※	授業外	1) グループでフィールドワークレポートを、個人でブルネイ滞中の体験談やアドバイスを執筆した。2) 執筆した原稿をGoogle Driveを用いてクラウド上に保存し、コメント機能を用いてピアレスポンス活動を行った。3) コメントを参考に最終原稿を提出した。
※	報告集の公開	報告集は、Amazon Kindleの電子書籍として販売し、社会貢献の一環として広く一般に対してブルネイについての情報共有を試みた。

報告集_draft1
 ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 ツール アドオン ヘルプ 最終編集:1月6日 (匿名さん)

10.5 B U I A

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

取外しから取り外されているレンガのレンガをのこしている。家はbelah bubung houseと同様にニッパヤシの枝から、床は竹から作られている。ベランダ、寝室、キッチンで構成されているが、キッチンには壁がなく川に面しており、梯子をかけて川の水を使う構造になっている。




A tungkup house
 屋根裏部屋付き（少女の寝室で4th層倉庫として利用される）の家がA house with loterd、家の真ん中に梯子があり、これがその屋根裏部屋へ続く。家の屋根は堅い木で作る。

内装

(3)A belah bubung house
 このbelah bubung houseはブルネイの水上集落の一般的な家である。寝室、リビング、serambi（雨避けつきの追加的な空間）で構成されている。Serambiは茶数目的の場所であり、細い窓とドアが備え付けられている。屋根はニッパヤシの葉でできていて、壁は内側がニッパヤシの枝、外側がpelupuh buluh(竹の薄皮)の二重構造である。

(4)potong limasとA belanggar house
 1940年代の代表的な家は巨大で5つに隆起した屋根、potong limasを持つ。potongはマレー語で「切られた」、limasは「5つ」を意味する。屋根はtin（水上集落において家をつなげるために使われる小さな橋の一種）balayarと呼ばれる。
 使用されている材料は家の部位によって異なる。柱はbulianと呼ばれる堅い木、屋根はimi-imi（重なり合う形で整えられた厚紙）とアルミニウム、床は平面厚紙である。
 A belanggar houseはA belah bubung houseと似ている、1950年代に建てられた家である。家の構造上、リビングやベランダはL字型でcollide(より大きく)見える、potong limas付きの家同様に屋根にはアルミニウム、壁や床に木の厚紙が使われている




23:57 11月21日
 自分たちの訪れた感想も書かれていた方が読んでいて楽しいと思います。

匿名
 16:30 11月23日
 水上集落に関して詳細に書かれていて良いと思います。
 中国寺院の解説がもう少し欲しいです。いつ建てられたとか知りたいです。

匿名
 7:13 11月29日
 水上集落の情報は大変興味深い。ポートの上からでは、集落の道路や橋が狭くみえた。それらの写真を載せれば、様子がみえ、ありがたい。

匿名
 23:28 11月24日
 水上集落についての説明が詳しくて良いと思いました。日本ではあまり見かけないので、モスクの違いは写真を見ても分かりづらい可能性があります。オールドモスクとニューモスクの違いについて表でまとめるとわかりやすいかもしれません。

匿名

レポート執筆の手順

※	2018.8.17 ~9.15 ブルネイ滞在	現地で行われる短期英語研修に参加しながら、現地の学生にアンケートやインタビューをしたり、写真や動画を撮ったりと現地でしか得られない情報を収集した。
3	2018.10.1	グループごとにブルネイ滞在中のフィールドワークからどんなことがわかったのかを報告した。
※	授業外	1) グループでフィールドワークレポートを、個人でブルネイ滞在の体験談やアドバイスを執筆した。2) 執筆した原稿をGoogle Driveを用いクラウド上に保存し、コメント機能を用いてピアレスポンス活動を行った。3) コメントを参考に最終原稿を提出した。
※	報告集の公開	報告集は、Amazon Kindleの電子書籍として販売し、社会貢献の一環として広く一般に対してブルネイについての情報共有を試みた。

検索結果に戻る



著者をフォロー



瀬尾匡雄

+ フォロー

ブルネイってどんなところ?: ブルネイ・ダルサラーム大学短期研修報告 Kindle版

茨城大学ブルネイ短期研修参加者 (著), 瀬尾匡雄 (編集) 形式: Kindle版

その他の形式およびエディションを表示する

Kindle版 (電子書籍)

¥440 税込

獲得ポイント: 4pt

今すぐお読みいただけます: 無料アプリ

ブルネイってどんな国なのだろう?

2016年にブルネイ・ダルサラーム大学と学生交流協定を結び、2017年に初めて学生を派遣するとなったときに、実は私もよく知らなかった。そこで、学内の図書館やオンライン書店で本を探してみた。結果、いまいち役立ちそうな本が見つからなかった。

「あんまり参考にできる本や情報がないな〜。ガイドブックもマレーシアのおまけみたいで最後にちよ

く [続きを読む](#)

販売: Amazon Services International, Inc.

紙の本の長さ: 481ページ

タイプセッティングの改善: 有効

Page Flip: 有効

利用可能な端末

この本はファイルサイズが大きいので、ダウンロードに時間がかかる場合があります。Kindle端末では、この本を3G接続でダウンロードすることができませんので、Wi-Fiネットワークをご利用ください。

kindleunlimited

200万冊以上を読み放題でお読みいただけます。 [詳細はこちら](#)

読み放題で読む

または

Kindle 価格: ¥440 (税込)

ポイントを利用する - ¥191

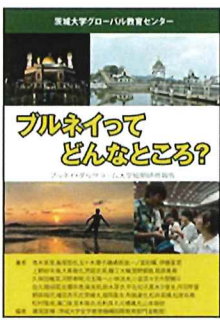
ご請求額: ¥249

獲得ポイント: 4ポイント (1%)

注文を確認する

上のボタンを押すとKindleストア利用規約に同意したものとみなされます。

34



この画像を表示

ブルネイってどんなところ? (日本語) オンデマンド (ペーパーバック) -

2019/4/5

茨城大学ブルネイ短期研修参加者 (著), 瀬尾匡雄 (編集)

★★★★★ 1個の評価

その他の形式およびエディションを表示する

オンデマンド (ペーパーバック)

¥2,000 税抜

¥2,200 税込

獲得ポイント: 22pt

¥2,200 より 1 新品

お届け日: 10月19日 - 29日 [詳細を見る](#)

最速の配達日: 10月19日月曜日、8AM-12PMの間にお届けします。 購入手続き画面でご都合のよい時間帯を選択してください。

観光・グルメから、留学のヒントまで... 研修参加者による実践的ブルネイ・ガイド!

ブルネイってどんな国なのだろう?

2016年にブルネイ・ダルサラーム大学と学生交流協定を結び、2017年に初めて学生を派遣するとなったときに、実は私もよく知らなかった。そこで、学内の図書館やオンライン書店で本を探してみた。

く [続きを読む](#)

シェアする

¥2,000 (2,200 税込)

通常配送無料 [詳細](#)

在庫あり。 [在庫状況について](#)
この商品は、Amazon.co.jp が販売、発送します。

数量: 1

カートに入れる

国立大学法人茨城大学 - 310-8512 にお届け

ほしい物リストに追加する

この商品をお持ちですか?

マーケットプレイスに出品する

35

実践のふりかえり

事前学習・事後学習の観点から

実践のふりかえり—事前学習としてのレポート執筆

参加者達は、ブルネイでの短期研修に参加することを決めたものの、当初はブルネイについて知っている者は極めて少なかった。だが、フィールドワークのテーマ決めを行う過程で、自分自身でブルネイの情報を調べたり、他者と情報を共有したり、他者から情報を得たりすることでブルネイに対する理解を深めていた。

【グループでのやりとり】

- A：ブルネイって多民族なの？
B：マレー民族が多いんじゃないですかね。
C：なんか中国系の人もちよっといるみたいですよ。
A：へー、マレー系と中国系？
C：あんまわかんないですけど、外務省のホームページを見たら確かそうだったと。

【アンケート】

ブルネイという国を知らなかったので、（グループでのやりとりは）とても参考になりました。

実践のふりかえり—事前学習としてのレポート執筆

グループによってはブルネイやマレーシアから来ている交換留学生に話を聞いたり、マレー語を教えてもらったりするなどしていた。そして、留学生とのやりとりのなかで、大学のキャンパス内にお祈りをするための部屋があることを知り、これまでキャンパス内の国際化について知らないことが多かったと述べる者もいた。

【事前の発表で】

D： そのマレーシア人の留学生が言ってたんですけど、茨大に礼拝所があるって聞いた時は、どこにあるんだろうと思って。で、「共通教育棟1号館にあるよ」って言われて、自分で一人で探しに行ったんですけど【中略】1号館って結構奥まであるんですね。で、Prayer Roomって書いてて。【中略】イスラム教徒の留学生がいるっていうのがわかって、なんか茨大がんばってるなって思いました。

38

実践のふりかえり—事前学習としてのレポート執筆

E： 学食にハラルの牛丼ありますよね？

F： え、そうなんですか？ 知らなかった。

E： ハラル牛丼ってやつ。それを僕も全然知らなくて。で、留学生に聞いたら、ハラルって向こうでは「（食べても）いい」って意味らしいんですよ。

G： ハラルって書いてあれば、みんな安心して食べますよね。

39

実践のふりかえり—研修参加中の情報収集

レポートを執筆するために情報を収集することで、積極的に現地の学生と交流をしたり、目的を持ってフィールドワークに参加したりすることができていた。

【アンケート】

- （現地の学生に質問することは）話のネタにもなって、こちらの勉強や刺激にもなったので、とてもよかったです。
- 現地の人考え方は、ネットや本にあるようなものではなかったなので、生きた情報を得ることができたように思います。
- ただ行くだけじゃなくて、目的を持って現地の学生と交流ができたので、とてもよかったです。

40

実践のふりかえり—事後学習としてのレポート執筆

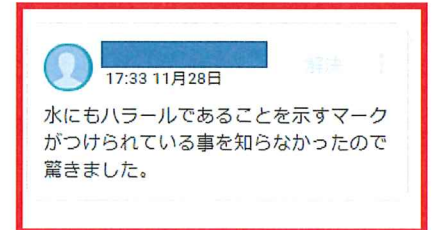
ピアレスポンス活動で、他の参加者が書いたレポートを読むことで滞在中に自身が気づくことができなかったブルネイの文化や社会的状況を知ることができていた。

41



①これは商品のミネラルウォーターがハラールであることを示している。普通のスーパーマーケットでも、食品にハラールであることを示すマークが付けられている。(左の画像の上部マークは「ハラールマーク」ではないがハラールであることを示している。)

②お店などで食べる通常の食事でもイスラームの影響を受けている。豚肉やアルコールは市場に出回っていない。肉は鶏肉と牛肉がほとんどで、この鶏肉や牛肉もイスラームの正式な加工処理によって施されたものである。



【アンケート】

- 他の人のレポートを読んで新たに気づいたことがあったのでよかったです。
- 他人の考えが知れておもしろかったです。

42

実践のふりかえり—事後学習としてのレポート執筆

執筆した内容に不足している部分があれば、他の参加者が追加で情報を提供することもあった。

43

③日本食もブルネイではハラールである必要がある。例えば左側のお茶の箱には赤いシールが貼られている。合わせて飲食チェーン店では、看板や掲示物を通してハラールと伝えている。右端の写真はパンチェーン店のCINNABONの店頭で、ハラールマークが確認できる。



〈3. 最後に・今後の課題〉

イスラム教が国教であるブルネイでは、食品はほとんどハラールで、ほぼ全ての商品にシールが付いていた。また、ムスリムが誤ってハラームを食べてしまった場合、特に問題はないという話を聞いた。ただし、意図的に口にすると違法となり、最悪の場合捕まってしまうということだった。食べ物はイスラム教のルールに従い調理され、商品にはハラールマークが付いていることから、ブルネイの食事はイスラム教にかなり影響を受けていることが分かった。

そして今後の課題として、ハラール食品の調理過程を見学し、どのような違いが見られるのかどうかを調べたい。また日本ではハラール食品がどれほど定着しているのか、認知されているのか気がなった。そもそも日本人がイスラム教を正しく理解できているかどうかを調査したい。

匿名 23:21 11月24日 解決

簡潔にまとまっていて読みやすいです。追加で調理にまつわるイスラム教のルールについて詳しい説明があるといいなと思いました。豚肉禁止については、日本料理店で豚汁を頼んだら鶏肉が入ってました。もし必要であれば写真送ります。

返信...



Kaizen Sushi



豚肉ではなく鶏肉が使用されていた豚汁

実践のふりかえり—事後学習としてのレポート執筆

さらなる情報が必要となった箇所については、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを用いて現地で知り合ったブルネイの学生に追加の質問をする者もいた。

【インタビュー】

H: 帰ってきてから、書いていくうちに、現地で知れなかったこととかをバディたち【=現地の学生】に聞いたりして、そこでまたバディと会話できるのとかはよかったです。

瀬尾: じゃ、執筆の過程でバディに確認したりとかってというのは結構してたんですか。

H: もう、結構どころじゃないほど、あっちに迷惑になるほど（LINEを使って）聞きまくってました。

46

実践のふりかえり—事後学習としてのレポート執筆

ブルネイの学生と交流することで、帰国後はキャンパス内にいるヘジャブを身につけたイスラム教徒の留学生の存在に意識を向け、かれらをサポートしたいと思うようになり、留学生をサポートするチューターになったり、学内の国際交流イベントに積極的に参加するようになった者もいた。

【インタビュー】

I: （ブルネイに）行く前までは、イスラムの人とあまり関わりがなかったんですけど、ブルネイから帰ってきて、大学とか歩いていて、ヘジャブの学生を見ると、「あ！ イスラムの人だ」って妙に親近感がわいて。

【中略】

私は今はチューターになって、かれらのサポートをしたいなと思うようになりました。

長期留学に参加する学生

2017年度 14人中3人（アメリカ、韓国、マレーシア）

47

実践のふりかえり—事後学習としてのレポート執筆

レポートは電子書籍として出版することとしたため、参加者達は単なる授業の課題としてのレポート執筆ではなく、読者を意識しながら書いていた。

そして今回の語学研修を通して感じたことを、文化的な面と語学的な面から振り返り、次に海外に行くのは、記憶が定かでない頃にグアムに行った家族旅行と、高校の研修旅行で台湾に行ったの続き、3回目であった。ただ、今までの数日間の旅行とはまた異なり、1か月間という比較的に長い滞在を経験して、外の世界に出ることの意義は改めて感じた。

例えば、こと、**してはいけないことの規則が厳しく、毎日自由のない生活をしているのではというイメージがあった。**ブルネイに行く前は、イスラム教徒は、毎日民族衣装を身にまき、毎日同じ時間にお祈りをし、禁煙は厳しく食べてはいけないなど、しなければならぬ実践行ってみると、もちろんお祈りの習慣や食に自分たちと異なる文化はあれど、それが驚くほど人々の生活の一部としてなじんでいた。女性のほとんどはヒジャブを身に付けていたが、男子学生は民族衣装や帽子を身に付けている日もあったが、比較的自由であった。スニーカーや帽子、アクセサリー等で自分たちと同じようにオシャレを楽しんでいた。現地の学生の話によると、お祈りは折れる人が折れる時間にすれば大丈夫、かなりの寛容さがあったし、服装やお祈りの制限の程度は家庭によって異なるそうだ。

ショッピングに出かけたり、観光地を訪れたりして日本と異なり興味深いと思ったのは、どんな場所にもたいてい国王の写真が飾られていたことだ。大学や博物館などの伝統的な建造物にあるならイメージするのは容易いが、ショッピングモール、マクドナルドなどの飲食店、ゲームセンターにまで飾られていたのだ。日本国民にとって天皇陛下が特別な存在であるのと同様に、ブルネイの人々にとっても国王は、自分たちとはまた異なった感覚で特別な存在であることがうかがえた。

このように、外の世界に出て自分の目で見聞きすることで新しい発見が多くある。異文化を感じることは、異文化でありながらも自分たちの文化と共通する部分があることなど、すべてが新鮮だ。

ブルネイは、公用語はマレー語となっているが、たいいてい人は英語も母国語と同様に流暢に話せる。これは、高校生のときに、母国語である中国語とそうではない英語を雑用に使い分ける台湾の学生と交流をし、強い衝撃を受けたことであった。今回の研修でも言語の壁が自分にとって課題の残るものであった。もちろん中学生の頃から英語を勉強しているわけだから、自己紹介程度の簡単なあいさつや一方的に考えを述べることはできる。しかし、会話の内容をだいたい理解することはできても、自分が言いたいことをうまく英語で伝えることができないし、丁寧に頭の中で訳そうとしてしまうため、ちょっとした冗談を会話の中で理解することができなかった。向こうの学生と仲良くなってきて、もっと自分のことを知ってもらいたいと思うにつれ、このもどかしさや悔しさが強くなっていった。こんな言いたいことがあるのに、ちょっとふざけたことも言いたいのに肝心の言葉が出てこない、と自分自身に難が立った。同じテンポの会話についていけない寂しさもあった。それをフォローしてくれたのがパティ(現地の学生)だった。知らず知らずのうちに困った顔をしていたのがもれないが、単語を強断してゆっくり話してくれたり、簡単な英語に置き換えてくれたり、UNOなど難しいコミュニケーションを必要としないゲームに誘ってくれたりした。言いたいことのうちの半分も伝えられないような英語力であったが、必死に理解しようとして楽しませようとしてくれた。そのおかげで少しではあるが、英語でコミュニケーションをとれるようになったと思う。

1か月という短い期間では、劇的に英語力が伸びるということは残念ながらない。ただ、言葉が違う相手とちょっと話せるようになりたい、という気持ちがかこれからの英語の勉強の意欲を掻き立ててくれた。

今回の研修をこんなにも充実したものになったのは、何かを変えたいと思いついて応募した自分の勇気もあるが、それを支えてくれた親、一緒に行った京大の先生や仲間、そしてブルネイ・ダルサラーム大学の先生やパティたちに他ならない。かかわってくれたすべての皆様に感謝して終わりにしたい。Terima kasih!

[目次に戻る](#)

ブルネイ体験記

私はこれまでになくほどの大きな荷物と不安を抱えていた。今回、英語研修で滞在したブルネ

きてから、水戸駅とか学校でヒジャブつけてる人みると、二度見しちゃう笑

2017/12/08 転載

このステレオタイプは多くの人が持っていますよね。イスラム信者は一部の過激派(イスラム教と違っていいのかわかりませんが)によって、かなりの風評被害を受けていますが、この記事を読むことによって、少しでもそのステレオタイプが解消されることを願っています。

一部を要示

返信...

匿名 2017/11/26

私も行く前は同じようなイメージを持っていましたし、ちょっと怖いという固定観念もありました。でも実際に現場に行ってみるとお祈りとかも寛容な感じでしたよね。やっぱり実際に触れ、自分の肌で感じるものが1番だと思いました。

匿名 2017/12/03

英語を上手く喋れないもどかしさはとても分かります。ブルネイの人達のイスラム教徒なのに何この自由風気感はやばい。

匿名 2017/12/01

まとめ

- 本研修を通して、World English(es)を学習するとともに、イスラム圏での生活を通して、異文化に対する理解を深めていた
- レポートを執筆し、電子書籍として出版することで、
 - 研修に参加した他者とのやりとりを通して、ブルネイに対してだけでなく、キャンパス内の多様性や国際化についても目を向けるようになっていた
 - 滞在中の現地の学生との交流が促されるだけでなく、研修参加前から現地の情報を調べ、そして帰国後もさらなる情報収集が促されていた
 - 単なる授業の課題としてのレポート執筆ではなく、読者を意識しながら書いていた
- ブルネイ研修の参加を通して、
 - 留学生をサポートするチューターになったり、学内の国際交流イベントに積極的に参加するようになった学生がいた
 - 長期留学に参加しようと思うようになる学生もいた

検索結果に戻る



ブルネイってどんなところ? : ブルネイ・ダルサラーム大学短期研修報告 Kindle版

茨城大学ブルネイ短期研修参加者 (著), 瀬尾匡雄 (編集) | 形式: Kindle版

その他の形式およびエディションを表示する

Kindle版 (電子書籍)

¥ 440 税込

獲得ポイント: 4pt

今すぐお読みいただけます: 無料アプリ

ブルネイってどんな国なのだろう?

2016年にブルネイ・ダルサラーム大学と学生交流協定を結び、2017年に初めて学生を派遣したときに、実は私もよく知らなかった。そこで、学内の図書館やオンライン書店で本を探したが、いまいち役立ちそうな本が見つからなかった。

「あんまり参考にできる本や情報がないな〜。ガイドブックもマレーシアのおまけみたいだし〜」

続きを読む

販売: Amazon Services International, Inc.

紙の本の長さ: 481ページ

タイプセッティングの改善: 有効

利用可能な端末

この本はファイルサイズが大きいので、ダウンロードに時間がかかる場合があります。Kindle端末では、この本を3Gネットワークでダウンロードできませんので、Wi-Fiネットワークをご利用ください。

kindle unlimited
200万冊以上を読み放題でお読みいただけます。詳細はこちら

読み放題で読む

または

Kindle 価格: ¥ 440 (税込)

利用する: - ¥ 191

¥ 249

4ポイント (1%)

注文を確認する

Kindleストア利用規約に同意したものとみなされます。



著者をフォロー



瀬尾匡雄

+ フォロー

コロナ禍での実践



E-Global Discovery Programme

A synchronous online programme that is designed to give an understanding of Brunei Darussalam through its four themes:

- Language
- Culture
- Business and Industry
- Green Science

ASEAN and East Asian students will have this opportunity to learn and experience the true unique Bruneian identity, its economy as well as its surrounding through online learning experience.

- Programme Duration: 6 days (17th to 22nd August 2020)
- Class size: Maximum of 15 students (to ensure we can have interesting and intensive discussion)

Fees and payment

50 usd (for students from UBD's partner universities)

GDP fees include : e- learning materials and worksheets

Contact Info

globaldiscovery.ga@ubd.edu.bn

Office of Assistant Vice Chancellor Global Affairs
University Brunei Darussalam
Jalan Tungku Link BE1410
Brunei Darussalam

@ubdglobalaffairs

E-Global Discovery Programme 2020年8月17日 (月) ~22日 (土)

19名の学生が参加

工学部 7人 3年生 1名、2年生 2名、1年生 4名 男性 2名、女性 5名
人文社会科学部 6名 3年生 5名、1年生 1名 男性 1名、女性 5名
農学部 4名 1年生 4名 男性 1名、女性 3名
教育学部 2名 4年生 1名、1年生 1名 女性 2名

基盤教育科目

「多文化共生：短期海外研修 (ブルネイオンライン)」の2単位



Microsoft Teams/ZOOM

講義型の授業

- ブルネイの文化と暮らし
- マレー語入門
- 起業家精神の構築
- ブルネイの観光I
- ブルネイの歴史（1984年まで）
- ブルネイの生態系
- ブルネイのポップカルチャー
- ブルネイとASEAN
- ブルネイの観光II

体験型の授業

- ブルネイの伝統的なお菓子「クエ」の作り方
- アンパヤットの作り方
- ブルネイの伝統的な踊り

学生との交流会



プログラムの詳細

JALT Study Abroad SIG Conference（2020年9月26日）

オンラインによる新しい海外留学の可能性

オンラインによる新しい海外留学の可能性 —コロナ後のブルネイ短期語学・文化研修プログラムの実践から—

瀬尾匡輝（茨城大学）

masaki.seo.ms@vc.ibaraki.ac.jp

JALT Study Abroad Conference 2020

2020年9月26日（土）

オンライン開催



<https://youtu.be/UvudgbSqWbM>

参考文献

藤原孝章（2017）「海外スタディツアーにおけるルーブリックの作成と活用」子島進・藤原孝章（編）『大学における海外体験学習への挑戦』（pp. 45-59）ナカニシヤ出版

お問い合わせ

瀬尾匡輝

E-mail:

masaki.seo.ms@vc.ibaraki.ac.jp

